

伊台地区タウンミーティング(要約)

平成26年8月30日(土曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。今日は夏休みの最後の土曜日であります。皆さんもいろいろとご予定があったのではないかと思いますけれども、このように多くの方が参加をしていただきまして本当にありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、伊台地区代表者会の会長さんをはじめ、役員の方のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。このタウンミーティングですが、私が市長に就任をさせていただいた4年前から開始をしております、松山は旧北条市、また旧中島町、合わせて41地区にわかれます。我々が市役所で待っているのではなくて、41地区には地区それぞれの魅力もありますし、またお困りの点や課題もあると思います。我々は市役所で待っているのではなく、我々から出向かせていただいて、そういう困りごと、課題、また魅力を教えていただいて、できることからできるだけ早く市政に反映していこうという思いでこのタウンミーティングを始めております。また、パフォーマンスとかガス抜きのためだったら1巡で終わっていたかと思いますが、それを重ねていくのだということで2回目に入っているところです。伊台でタウンミーティングを行わせていただくのは2年3カ月ぶり、2回目になります。私は皆さんご存知のように、一市民から皆さんの応援をいただいてこの立場をいただいた人間です。行政と市民の皆さんの距離ができてしまうことはよくないことであります。私は本気です。行政と皆さんの距離をもっと近くしたいという思いでこのタウンミーティングを重ねておりますけれども、この場でお答えできることはできるだけこの場でお答えして帰ります。また、中には国と関係する案件、県と関係する案件、財政的な問題があるものもございます。そういうものをここでいいかげんな答えをして帰るわけにはまいりませんので、そういうものはいったん持ち帰らせていただくものもございます。それも、聞きっぱなし、やりっぱなしにするのではなくて、1カ月を目処に必ず返事をするのがこのタウンミーティングの特徴でございます。今日は伊台小学校の皆さん、また旭中学校の皆さん、将来の伊台を背負って立つ存在の方々ですが、そういった方々も参加されています。前向きなこれからの伊台にむけての話し合いができればと思いますので、今日はどうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 上伊台の実川地区で区長をしております。職業は農業をやっております。今年は非常に鳥獣害被害が多くて伊台はぶどうの産地ですが、ぶどうとか桃とかあるいはこれから穫れるみかんとか、野菜のきゅ

うりとか、そういったものに多大な被害があるんです。それで以前にも意見が出ていますように鳥獣害被害の中で、特に最近はサルが多くなって、サル対策でモンキー事業って出ているんですけど、ご説明願いたいです。

【市長】 松山全体を通してみて、北条の栗井地区、河野地区、立岩地区でサルの被害がかなり増えております。この3地区のうち河野地区と栗井地区で2頭の犬を導入しまして、これは何でも犬を持ってきたらいいわけではなくて、徳島県にそういう訓練をする施設があります。サルを追いかけて、そしてきちんと追い払い場所に帰ってくる訓練を受けたモンキードッグ事業を導入することにいたしました。松山市には愛媛大学の農学部があります。イノシシ対策をやっているんですけども、愛媛大学の農学部先生がいらっしゃって、その方に「松山市の山間部ではサルの被害が増えているんですけど、何かいい方法がないでしょうか」とお伺いをしたら、まずは長野で成功事例ができて、徐々に広がっているモンキードッグ事業というのがあるんですよと一昨年の夏に教えていただいて、引き受け手の飼い主さんがいないといけませんので、飼い主さんの引き受け手もできたので、この夏から河野地区と栗井地区でやり出したということです。その方はブルーベリーなどをつくっていらっしゃると伺っているんですけども、今のところ効果があると伺っています。サルは2つのパターンがあるようで、先生から教えていただいたんですが、はぐれザルの雄が1匹で集落に下りてくると、雌が団体で自分の子どもも連れて群れで下りてくるケースがあると。どちらにしても犬で追いかけることで集落に下ろしてこないという効果があるそうですので、今のところ一定の効果が出ているのでちょっと長く効果をみて、引き受け手もあるのだったらほかの地区にも広げていきたい制度になります。前のタウンミーティングでもいただいたご意見ですが、イノシシの被害、サルの被害、カラスや鹿の被害も多くなってきました。データをご紹介しますと、私が就任させていただいた平成22年度は松山市全体として被害額は8,485万円あったんですが、さまざま施策展開をしまして、平成25年度では、3,200万円くらいまで被害の額を落としてくることができました。これで5,200万円くらい被害を抑える形になっているのですが、これで終わりじゃなくて、とにかく効果があるものは何でもやっていく。モンキードッグ事業もそうですけど、ちょっとでも効果があるものはどんどん試して皆さんがせっかく汗水垂らしてつくったものを最後の最後に食べられることがないようにいろいろ方策を図っていきたくて思っています。よろしく願います。

【男性】 私、自主防災の会長をしております。先日、市長は東京フォーラムで松山市の消防団、「だんだんプロジェクト」で紹介をされておしま

した。全国の方からすごい評価を受けていたとテレビや今朝の新聞報道で見ました。ご苦勞でございました。それでは本題ですが、安全・安心という点で伊台に限ったことではないんですけども、松山市にも相当数の空き家があると思います。空き家について今松山市がどういう考えを持ってどう取り組んでいるのか、空き家数を調べているのであればその内容をお聞かせいただきたいと思ひます。

【市長】 はい、わかりました。これは偶然重なるんですが、先ほどのイノシシ対策専門の愛媛大学農学部の先生は実は若い女性の先生です。この先生と会ったのは、島でいうと中島や興居島だけじゃなくて、いろいろ小さな島もありますが、安居島とか睦月島とか怒和島の住民の皆さんの声を聞きに行くときに愛媛大学の先生にお会いしたのですが、ちょうど安居島に行きましたときに道路に空き家が崩れかかっている状況を見て、よりいっそうの空き家対策をと指示しまして、それが一昨年の夏だったと思ひますが、今松山市役所の中では大きく2つの分野に分けて空き家を是正するための動きをしております。

【都市政策課長】 都市政策課川口でございます。よろしくお願ひいたします。ご意見いただきましてありがとうございます。現在、松山市も少子高齢化人口減少の時代を迎えており、空き家対策について全国的にも問題になっておりまして、松山市でもその対策を講じる必要があると認識をしております。現在、市民の皆さんからの通報によりまして空き家の所有者や管理者に対して、文書などで命令とか改善の指導を行うなどのことをしておりますけど、空き家の崩壊による事故の防止は、あくまで個人の方の所有でございますので個人の方が行うことが原則となっております。現在では市がそれ以上の踏み込んだ改修とか撤去などはできていない状況がございます。そこでこのような状況を受けまして、現在、松山市では昨年からは市役所内に空き家対策の検討会を立ち上げております。そして空き家の適正な管理とか有効な活用について検討をしております。また、その中で現在の改善指導から一歩踏み込んだ勧告とか命令によって、より有効な対策を行うための空き家の適正化管理の条例の制定にも取り組んでいるところでございます。空き家の対策は松山市だけでなくて地域の方とも協力しながら取り組んでいく問題であると考えておりますので、地域の皆さんとも協力しながらこの問題に取り組んでいきたいと思ひておりますのでよろしくお願ひいたします。

【市長】 小学生の方にもわかりやすく説明すると、人が住まなくなった空き家ってあるんです。それで空き家が崩れそうになっている。例えばそこに道があったらば道を歩く子どもたちが危ないじゃないかというこ

とになりますよね。そこを何とかしたいんですけど空き家はもともと個人の建物なんですよ。危ないから市役所が直すとなると、何で個人のを市のお金で直すのという話になります。よそを直したんやったらうちも直してということになってしまうので、まずは個人が責任を持って周囲に悪い影響を及ぼしているのだったら直してくださいと今進めているんです。今、条例という言葉が出ましたけれども、国がつくると法律になるんです。愛媛県や松山市がつくると条例になるんですね。ルールです。松山ではこういうルールでやるんですよというルールをつくるべく今、動いているところです。ここの空き家危ないなというところを市役所に言っていたら、皆さんから空き家の持ち主に何とかしてというのなかなか言いにくいと思いますので、それは行政の力で「ここは皆さんに悪い影響を及ぼしているんで早く直してくださいよ」という働きかけもできますので、そういうところを見かけたときは遠慮なく市役所に言っていたらと思います松山市役所は電話コールセンターがありますから「空き家のことで」と言ってもらったら、電話を受けたものが担当に振りますので遠慮なく相談してもらったらと思います。

【男性】 土地改良区の役員ですけど、太陽光設置についてお尋ねしたいんですが、太陽光は原則として山林・雑種地・一般家庭に設置可能と聞いておりますが、上伊台町にある土地で、用地は石手川北部地区かんがい排水事業の地区に含まれている農振農用地であるが、現在この用地にごみの分別作業所兼倉庫、余地にメガソーラーを設置している。土地改良区としては田畑の地権者に負担金を徴収し農業関係の維持管理を行っているが、この施設で負担金をいただくと農振農用地へ倉庫、メガソーラーの設置を認めたことになるので対応に苦慮しています。農振農用地にはこうした施設は設置できない旨、行政指導をよろしく願いしたい。自動車運転でいうと飲酒運転しているのと同じくらいのルール違反だと思います。よろしくをお願いします。

【都市ブランド戦略課長】 都市ブランド戦略課長の矢野でございます。ご意見ありがとうございます。農用地区域への太陽光発電の設置については原則、不許可となります。ただし支柱を立ててその上部空間に太陽光パネルをして、下で耕作をする一時転用許可を受けて実施することが可能な場合もありますが、基本的に難しい場合が多いため、個別の判断となります。おっしゃられた土地についてはこの後現場を確認させていただいて、行政指導等につないでいきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

【男性】 農業委員会も出向いたんです。農業委員会は地目が山林になって

います。農水は石手川ダムのスプリンクラーがきているから農用地になっています。一応そこまでは私ども改良区として調べたんですけど。

【都市ブランド戦略課長】 おっしゃられるように農用地ということで、基本的に難しい土地であることは認識をしていますので、行政指導の状況等についてはいったん持ち帰らせていただきまして、担当課の対応とさせていただきます。

【市長】 農業委員会と農林水産課が連携して対応するように私から指示を出しておきます。ありがとうございます。

【中学生】 旭中学校3年です。この伊台地区は通学路に街灯がとても少なく、中学生が部活を終えて帰る時間帯に冬は特に暗くて友達と歩いても正直とても怖くて、でも親に迎えを頼むことはなかなかできないので、本当に冬は毎日怖い思いをしながら帰っている人がとても多く、そして不審者がよく出ているので正直もっと街灯を増やしてほしいなと思います。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。ご質問ありがとうございます。暗いから街路灯をつけてほしいというお話ですが、後で大体どこら辺かを教えていただけますか。道路だったら道路灯とか生活道路だったら街路灯をつけて明るくする方法があると思います。街路灯はこのあたりもあると思いますけど、所有者は地元の町内会とかになります。そしてそれに対して市は防犯協会を通して設置するときとか電球を換えるときに全額助成しています。お金を出しているんですね。街路灯は基本的には地元のものなんです。ですから維持管理は地元の方でしていただくことになりますので、先ほど言われた暗いところがあるのでしたら教えていただいて、市から町内会さんに声をかけてお話をしてみたいと思います。

【市長】 地図持ってきていますので、例えば道路で危ないところとか、例えば溝があってここが危ないなとか、ここに街灯をつけてほしいというところがあったら遠慮なく言っていただいたらと思います。それで何で地元なのって思われたかもしれませんが、街路灯の数は松山市内全体でいうと3万あるんです。それを全部松山市が点検しましょうとなると、例えば灯りが切れていたとなると発見が遅れますよね。ですので、地元で維持管理をしてもらいましょうというのが基本方針です。でも、先ほど申し上げたようにまずつける場合だとお金は要らないということになりますからそれは安心してください。ほかの地区でもタウンミーティングで街路灯が欲しいんできると言われて設置できている例が多々ありますので安心してもらったらと思います。この後また言ってください。ありがとうございます。

【女性】 会社員をしております。児童クラブの時間延長に関する質問です。児童クラブは現在5時までで、延長して6時までという時間の設定になっていると思うのですが、現在、2歳の子どもがおりまして保育園を利用させていただいて仕事をしております。保育園は6時まで、延長して7時まで。私の仕事が6時までが定時なので小学校に上がってしまうとどうすることもできないので、子育て支援課に問い合わせをさせていただいたところファミリーサポートをお願いをしてください。ファミリーサポートに問い合わせをしたところ、皆さんの善意に頼って行っている事業なので仕事をするために毎日必ず確実に預けられる制度ではないですとお断りをされました。それであればベビーシッターをお願いしたらいかがですかと言われたのですが、ベビーシッターを頼ろうとすると1日当たりの費用が4千円を超えてくるんですね。それで月20日それを利用するかというと正直難しいのが現状です。ただ、今2歳なので4年先のことではあるんですが、4年後に正社員を辞めて時間の短いパートタイムの仕事にかわるのかということとそれもまた違う話じゃないかなと思います。個人の方の善意に頼ることも考えはするのですが、そこにやはりよその目がない個人宅に大事な娘を預けるリスクも考えてしまいますので、保険をかけているから大丈夫だよと言われてもそういう問題ではないんです。なので、行政の皆さんにぜひご協力をいただいて児童クラブの1時間延長を前向きにご検討いただきたいと思って今日は参加させていただきました。よろしくお願ひします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課長の西市です。よろしくお願ひします。ご質問どうもありがとうございます。現状の児童クラブの運営状態は、松山市内に44の運営委員会がありまして、地域で組織する運営委員会に委託をしております。国のガイドラインの中に運営時間の問題であるとか児童クラブの人数であるとか面積などの規定がありまして、今現在は1年生から3年生までの児童を対象にお預かりしている現状でございます。ご質問のありました1時間延長することになりますと色んな問題が生じてきます。というのは、運営委員会を運営されている指導員の手当であるとか人員のやりくりであるとかそういった対応も44クラブすべてに対応していかないといけない問題があります。平成27年度から児童クラブの運営方針の内容も若干変わっています。今は3年生までの児童が今後は6年生までの児童をお預かりすることになりますので、施設の整備とか内容の充実した運営について今検討しておりますので、その中でこういったご意見があったことをお伝えしながら検討させていただいたらと思っております。よろしくお願ひします。

【市長】 今、子ども子育てのことをどうサポートするかは松山市の色々な重要課題の中の1つだと認識しています。保育園と幼稚園がありますけれども国の制度でいうと保育園は厚生労働省の管轄です。幼稚園は文部科学省の管轄です。そんなことあんまり関係ないですよ。皆さんからすると子育てお願いしますよという感じです。幼保一元化って皆さんも聞かれたことあるかと思いますが、幼稚園と保育園を一元化しようというのが来年の4月から始まるんです。国ですから法律ですね。子ども子育て関連3法が来年の4月からスタートするんですけれども、うちは前倒しでやりますよと今年4月から保育園と幼稚園の担当課を一緒にしました。保育・幼稚園課。そして課単位でやるのではなくて、全庁をあげてやりましょうというので新しい部をつくりました。子ども子育て担当部長を責任者にして一体的にやっている状況です。松山市にとって子ども子育てはものすごく大事な問題で、この間も児童クラブの運営状況を一覧にして見せてもらって、これ本当にお母さんの帰宅時間から考えて大丈夫なのという話をしたところなんです。皆様からそういうご意見をいただいているのはよく認識しておりますので、引き受けてくれる方の体制の問題があるんですけれども重要な問題だと認識していますので、これからも子ども子育てをサポートできる体制をしっかりとつくっていきたいと思っています。今年、待機児童ゼロを4月1日に松山市達成できたんですけども、これに浮かれることなく、子育てのサポート求めている方はいっぱいいらっしゃるのでもまだまだやっていこうと思っています。いいご意見を言っていただいてありがとうございます。伊台小学校の児童クラブも動きがありますのでご紹介させていただいたらと思います。伊台の児童クラブですが、入会児童数57名で1人当たりの面積が1.24㎡で基準より狭い施設になっておりました。ですので、今年度中に学校の第2グラウンド内に新たな施設を整備しまして来年の4月から利用できるようにいたします。新たに整備する施設ですが、軽量鉄骨の平屋建てで内部の間取りや設備・建物の配置などは今後学校や運営委員会と協議しながら決めてまいります。10月から11月ころに工事に入りまして、来年3月までに工事とクラブの移転を終えて、4月から新しい施設が利用できるようになります。現在の伊台児童クラブは開設当時に学校の敷地内に専用の施設を建てるのが難しかったので学校外の民家を借り上げて運営をしているんですが、こういう動きがありますのでお知らせをさせていただきました。

【中学生】 旭中学校1年です。白水台から祝谷に下りる大きな坂のことで言いたいことがあるのですが、1番下のカーブのところで事故やけがが相次いでいるのが気になっていて、実際に集中治療室に行く大きな事故な

ども起きているので、あそこにガードレールをつけてほしいと思っています。

【都市政策課長】 どうもご意見ありがとうございます。この道路は県道になっておりますけれども、私から県にお伝えしまして、警察も含めて現場も見ていただいて対応できるようにお願いをしたいと思います。また、その結果もお伝えをしたいと思いますのでお願いをします。

【市長】 皆さんどこが国道でどこが県道で、どこが市道なんてわからないですよ。遠慮なく言ってください。いわゆる縦割りなんて言いますが、このタウンミーティングは市のことであつたらすぐ対応させていただきますけれども、県のことであつてもすぐ県に言います。また、国のことであつても国に言いますので遠慮なくおっしゃってください。タウンミーティング2巡目ですけども、色んなところで交通安全のことを言っていただいてガードレールを設置したり、水路のところに反射器をつけたりとか色んな取り組みができていますので、必ず県に伝えようと思います。

【中学生】 旭中学校です。南白水に、爆音で走るバイクが最近増えていて、取り締まりの強化などをお願いしたいです。

【市長】 南白水って道後平ニュータウン？

【中学生】 はい、道後平ニュータウンです。

【都市政策課長】 取り締まりについても、警察にお願いするようになると思うんですけども、後で場所を教えてくださいたら私から警察に連絡をして、調査をまず始めると思うんですけど要請をしていきます。

【市長】 この前に北条の粟井地区でタウンミーティングをやったんですけども、バイパスじゃなくて山側の道でかなり朝などはスピードを出していく車があるんだというご意見を中学生からいただいて、松山西警察署に伝えてパトカーの配備を重点的にしてもらうことができるようになりました。これも早速警察に言うておきます。警察の人も平日なのか土日祝なのか、何時ぐらいの時間帯なのかどのへんなのかを教えてくださいと対応しやすくなると思います。いつぐらいからいます？

【中学生】 結構前からです。

【市長】 何台もいる感じですか？1台2台とか？

【中学生】 集団です。

【市長】 夜ですか？

【中学生】 はい、夜です。父が寝不足になる時間帯です。

【市長】 せっかく閑静な住宅地なのにいけないですね。わかりました。

【小学生】 伊台小6年です。伊台小の横に川があるんですけど、その川の水はとてもきれいなのでホテルがたくさんいるんですけど、ホテルの

ことをもっとアピールしてもらいたいのので、ホタルの里のような施設をつくってもらいたいのですがよろしいでしょうか。

【都市ブランド戦略課長】 ご質問ありがとうございます。ホタルは地域の方の憩いにもなると思いますし、そして地域外の方もホタルを見にいらっしゃる方がたくさんいらっしゃると思います。そして、そういうもので癒されて気持ちよくなって帰っていただくことは非常に大切だと思っています。ただ、施設をつくりますとその規模にもよりますが最初につくる時の経費が要ります。そして施設ができた後はそれを維持管理していくための経費が必要になります。ですので、そういった経費のことを考えますと、松山市にもこの地区以外にもホタルのたくさんいるところもございますので、施設を今つくることは難しいかなと思いますけども、ホタル自体を楽しんでいただく場所や環境を保つことが大事だと思いますので、環境を保っていくことに地域の方と一緒にやっていきたいと思いません。

【市長】 ごめんなさい、知らないのですが教えてください。伊台小学校の中にはホタルを育てるような場所とか、建物はあるのかな？

【小学生】 そういったものはないですけど、毎年、地域でホタル祭りが開催されるんですけど、そういったものしか知らないです。

【市長】 なるほど。これは学校の先生方とのお話になるんですが、子どもだけでは大変なことだと思いますので、地域の方々が協力する体制ができるのであれば、敷地の問題もあると思いますけれども、学校内にホタルの幼虫を育てる場所を構えるのは、条件を整えばできると思います。学校の中でやるのか、伊台小学校のそばにはきれいな川があるから川のほうでやりたいのか、いっぱい市内から来てほしいのか、近場の人がある程度集まってくれたらいいのか、どんなイメージしてるのかな？

【小学生】 いつもテニスの練習で東雲に行っているんですけど、その人たちがあんまり伊台のことを知らなくて、でも近くの五明なら知っているという人がたくさんいたので、周りの人が伊台を知ってくれたらいいなと思います。

【市長】 いいご意見だと思います。伊台愛の現れですよ。お子さんがそういう心を持っているのは、大人の皆さんが伊台を愛する教育をやってこられているからだと思いますね。松山市内だと、結構街のほうなんだけど、素鷲小学校もホタル飛ぶんですよ。子どもだけでやるのは結構しんどいと思いますので、地区の方々が協力して五明もやっているのだったら私らもやってみようと、ホタルを育てる環境ができるといいなと思っています。ただ、ホタルの難しさは、飛ぶ時期は夏場の1週間ぐらいで

すよね。その時に集中してしまう難しさと、見に来てほしいんだけど、取って帰っちゃうという難しさと、10日間だけ雨が降ったらたちまち人が来ないという難しさ。私、前の仕事で県内各地に行っていたので、中山はホテルを育てることを先んじてやっていたところですけど、今、ホテルが結構いなくなって、幼虫を取って帰られるとかあって難しいところがあるみたいですけど、地区で育てる雰囲気できればいいなと思います。いいご意見いただきました。五明でもやっているんだから伊台でもやりたいと思うことは伊台愛の表れと思うので、本当にいいご意見いただきました。ありがとう。

【小学生】 伊台小学校の6年です。伊台は山に囲まれた盆地で、なかなか風が入らなかつたりして気候の変化が激しく、夏はすごく暑くなったり冬はすごく寒くなったりします。夏は体育が終わった後、汗をだらだら流しながら歩いている人や、冬は1時間目に鉛筆がなかなか持たなくて字がぐらぐらな人たちがいるので、授業に集中できる過ごしやすい環境をつくってほしいです。

【市長】 伊台・五明は果物にはいいですよ。朝は冷えて日中は温度が高くなる気温の差で作物はおいしくなります。伊台・五明の高原ぶどうはすばらしいぶどうだと思いますけど、人間にはきついんですよ。朝は寒くなるし日中は暑くなるし。私たちの子どものころは日中の予想最高気温は30度ぐらいでした。夏は暑いから夏休みがあるけれども、今、35度ぐらいまで予想最高気温が上がりますから、我々のときよりかは学習環境としては厳しくなっている。平成33年に学校耐震化が完了する予定だったんですけども、これは有効な公共工事というので、私が就任させていただいてから思い切って4年前倒しをいたしました。平成29年度に松山市内の小学校・中学校は耐震化が完了します。体育館は避難場所なのでもうすでにできています。広島で大変な災害が起こってしまってほんとお見舞いを申し上げたいのですが、学校に避難して和式トイレだと高齢の方はしにくいですね。水を飲むのを控えたり、トイレに行くのを控えたりという例があつて、より体調が悪くなってしまいます。学校はそういう避難してくる場所にもなりますので、できるだけ洋式トイレ化も進めていきたいし、環境の整備も進めていきたいと思ってます。

【女性】 伊台小に子どもが通っていますのと、光洋ハイツの子ども会におります。さきほど、中学校のお子さんが言っていました山田という白水台から下りている坂と、あと祝谷の道路が気になるんですが、実は高校生の息子もいまして、かなりの割合で自転車通学が多いんです。坂と道の幅の写真と注意してほしいことを後でお見せしたいと思うんですけど、道路

整備もですが、高校生が今かなりマナーが悪いということで、私も反省点はあるんですけど、小学校でも自転車の授業がある。中学校もおそらく交通的なことを先生も指導されていると思うんですが、松山市全体として自転車の安全とか交通の面で市内に出たときにどう運転をしたらマナーがいいのか、自分が守れるのかといった細やかな指導を、個々の家庭にも指導はされていると思うんですが、子どものことを思えば重要なことと思います。小学校でヘルメットをかぶって乗りなさいと言っても、どの子もヘルメットかぶってないですよ。かぶっていてもかっこ悪いから、笑われるからと言って、脱いで危険なまま遊びに出る。そういったことで、もうちょっと市からご協力をいただけたらと思いますし、今されている対応についても詳しく教えてください。

【市長】 わかりました。中学生にお伺いします。私は、松山市立清水小学校ですが、中学校は父親が県職員だったので今の四国中央市の三島南中学校に行きました。そこは自転車に乗るときは必ずヘルメットをつけなさいという決まり。今、旭中は外出するときはヘルメットはつけないといけないのですか？

【中学生】 全員、中学は徒歩なので。

【市長】 通学は徒歩。自転車乗るときは？

【中学生】 みんなつけてない。

【市長】 みんなつけていないのか。今、小学生・中学生の被害者になる事故も、逆に加害者になる事故も、自転車で高齢の方とぶつかったりすると死亡事故につながることもありますので、本当に危ないです。例えば中学校時代を過ごした伊予三島のように、半強制的に親御さんにヘルメット買ってもらうんですね。多分、学校側が支給していなかったと思います。命を守るために必要なんだというやり方もあると思います。中学生・高校生の自転車乗っている子が全然見ないで飛び出して急ブレーキを踏まれたことも皆さん結構あるんじゃないかなと思います。タウンミーティングで小学校・中学生の交通ルール、自転車のマナーを守らせてくださいという意見が出て、ちょっと工夫をしました。小学校3年生ぐらいから自転車は乗り始めるそうです。今、松山市内の学校では、ルール守らないといけませんよという学科を受けてもらったら子ども自転車免許証を交付するんです。台紙は青です。そして、運動場での実技です。運動場での実技を受けてもらってルール守るねと教室を受けてくれたら、ゴールドのシールを貼ってゴールド免許証にするんです。これはなぜ思いついたかということ、県警のイベントで子どもが免許証もらうと、すごくうれしそうにします。それを覚えていたので、子ども自転車免許証を発行しようと思いました。裏

には大事な守ってほしいことが書いています。こういうのはただ発行しただけでは、すぐに捨てられるんです。そうならないために、中央公園のアクアパレット、コミセンのプールなどの各松山市の市有施設にカードを提出したら割引が受けられる仕組みを導入しました。そうすると子ども自転車免許証は捨てられることがないですよ。ずっと免許証を持ってもらうことによって、ルールも書いていますし、子ども自転車免許証を発行しました。やり出して3年目ぐらいじゃないかなと思います。できるだけルールを守ってもらうように、ちょっと工夫を重ねながらやっているところです。やっぱり、日々顔を合わせているご家庭で言っていただくことが大事です。高校生・中学生には、ちょっとショッキングですけどもスタントマンの人を使って学校に来てもらって、本当に事故の様子を見せる。スタントマンですから体を鍛えているから大丈夫ですけども、危ないんだよと知ってもらい、できるだけ事故にあわない仕組みを導入してやっていますので、またご家庭でのご協力をよろしくお願いします。

【小学生】 伊台小です。通学しているときに環境の面もあるんですけど、トラックの排気ガスや音が大きかったりとかして、通学していて危ないと思うことがあるんです。

【市長】 音もそうだし、大きなダンプ・トラックが危ないなと感じるということですね。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。この問題についてもまた後で場所を教えていただいたら、警察とか松山市道の場合は道路管理者が松山市ですけども、現場見させていただいて対応をさせていただきます。

【市長】 皆さんもお近くなのでご覧になられることもあると思いますが、湯の山ハイツがありますね。湯の山ハイツの下の道路は、小野までつながりました。小野3号線といいます。あちらでタウンミーティングしたときに、「市長さん、湯の山から下りたところは草が伸びていて、どうしても子どもらが道まではみ出る。車と当たりそうになって危ないから何とかしてもらえませんか。」という話をいただいて、県道ですけども、早速、県に草を刈ってもらいました。そして、道路を実際に歩かせていただいて、でこぼこがあったので県に言って補修をしていただきました。そして、グリーンをつけているところもあったと思います。小野3号線ができることによって、奥道後から下りてくる道と小野に抜ける道が直角になりますけれども、あそこが交通量が増えたのでなかなか右折ができず、松山市内に曲がっていけないので川沿いの旧道に車がどんどん入っていく。中学生が危ないケースが増えてきている話をいただいたので、県警に話をしまして

右折信号をつけてもらうようにしました。ホテル奥道後から下りてくる道と小野に抜ける道との直角の交差点です。そのように対処ができます。今、愛媛県とも県警とも連携してやれますので、例えば草刈るとか、緑のレーンをつくるとか、右折信号を設置するとか、信号を長くするのはできますので遠慮なく言っていただいたらと思います。

【女性】 地域包括ケアシステムについてお伺いしたいのですが、松山市も地域包括ケアシステムを今構築中だと思うんですけども、数年前に地域包括ケアセンターが合併されて2中学校区に1つになったので、旭中学校の担当は道後に統合されたと思うんですけども、こちらの高齢者支援とか予防支援はなくなっている状態だと思います。求めれば道後から上がってきてくれるんでしょうけど、今後に政策するにあたってこの地域は先ほども市長もおっしゃたように市街化調整区域の田舎をきれいに残そうという地域でありますので、外からの法人の支援とかではなくて、地域独自で支援の輪ができるように、例えば公民館に地域で自立して運営できるものを設置するとかの対策をぜひお願いしたとっております。よろしく願いいたします。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の西市です。ご意見どうもありがとうございます。地域ケアシステムについては、今後介護サービス事業等が改正される中で包括支援センターを中心に制度の見直しなどの検討をしております。ご質問のありました地域で65歳以上のご高齢の方が介護保険制度による通所を行うとかではなくて、住み慣れた地域の中で住みやすい環境をつくるのが地域ケアシステムの1つの事業と認識しております。伊台の中でいろいろ高齢クラブとかいきいきサロンのサービスを活用しながら皆さんが生きがいを持った生活が行われていけばいいなと私どもも考えておりますし、今後も支援をしていきたいとっております。こういった部分を公民館を活用しながら高齢の方が生きがいを持った生活ができるように支援をしていきたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

【市長】 地域包括支援センターは市内に何カ所あるんですか。

【保健福祉政策課長】 市内に10カ所です。

【市長】 こちら伊台を統括させていただいているのは松山市地域包括支援センター桑原・道後になります。持田町1丁目にありますけれども、来てくださいでなくて、言っていただいたらこちらから出向いていくのを基本方針にしておりますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。ご存知の方も多いと思いますけれども、地域包括支援センターはということをするのかといいますと、高齢者の方が住み慣れた地域で生活を続けて

いくために、高齢者の状態に応じて必要な介護サービスやそのほかの保健福祉サービスを行政だけでなくと連携させていただいて支援をさせていただく中核的な施設が地域包括支援センターです。持田まで行かないといけないのかと思われるかもしれませんが、遠慮なく言っていただいたらご自宅への訪問相談にも対応することになっておりますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしく願いいたします。

【小学生】 伊台小学校6年です。伊台地区は浄水場より上にあるため浄水場の水がきていなくて井戸水を使っています。しかし井戸水には金属とか細かいものが含まれていると聞いたことがあって心配なので、安全な生活用水を使えるようにしてほしいと思います。

【市長】 松山市の全体方針になりますので私からお答えをさせていただきます。松山市には伊台地区をはじめ山間部の集落、住宅団地を中心にまだ市が経営する水道の区域にできていないところが多くあります。そのできていない区域の人口を合わせると3万人に上ります。伊台地区の皆さんから水道を求める声が以前からあることは十分に承知をしております。松山市としては将来的に水道の区域を広げていきたい。そして伊台地区の皆さんに水道を提供していきたいと考えています。ただ、水道の区域を広げるためには国の許可が必要です。厚生労働大臣の事業の認可が必要で、厚生労働大臣の認可を得るためには何が必要かというところ、新規水源開発ができないと許可がもらえないことになっていきます。ですので、今は許可が得られていないので伊台地区へ水道を整備することができない状況にあります。今、新規水源開発は皆さんもニュースや新聞でご覧になると思いますが、愛媛県の調整のもと西条市にあります県営黒瀬ダムからの松山分水について地元西条市の方々のご理解が得られるように全力を尽くしているところです。協議の状況などは松山市のホームページや広報紙で逐次お知らせをしていきます。我々としてはこの伊台地区にできるだけ早く水道を広げていきたい。そのためには新規水源開発ができないと国の厚生労働大臣から認めてもらえないということで、西条市さんをお願いをしているところがございますので、水をいただく立場と分けてもらう立場では立場が違うのでちょっとした変化で西条市さんのお気持ちもありますので、誠心誠意の交渉をさせていただく、粘り強い交渉をさせていただきたいと思っています。あと1つだけ。新しい水を確保するために19の方策を考えて、やはり安定的に皆さんに水道水を供給できないといけませんし、ばかに水道代が上がってもいけませんので、コストのことも考えて西条市さんから水をいただくことができるのであったらいただくことが1番コストが安いと検討させていただいて、考えさせていただいて今やっ

ております。2番が海水の淡水化ですけれども、海水の淡水化より西条市からの分水に優位性があるというので今やっているところですのでご理解をいただけたらと思います。

【中学生】 旭中学校1年です。通学路としてよく利用されている大きな道があるのですが、そこにガードレールがなくて、例えば車が突っ込んで来ても被害を軽減できなかつたり、人通りが結構少なかつたりするので、車をとめてそのままさらってしまつたりとかも簡単にできてしまうと思うので、さっきの坂の下のカーブのところにガードレールをつけてほしいという意見もですが、人が亡くなってからでは遅いと思うので、早目早目の対応をしたらいいと思います。

【市長】 はい、わかりました。道後平ニュータウンとか、いろいろ新興住宅がありますけれども、お子さんをお持ちのご家庭が入られて、学校に通う。そういう方々が見守りをしていただくと、大変ありがたいんですね。地域の目があると、防犯にしても子育てにしても介護にしても助かるので、親御さんが見守り活動をしていただけると大変ありがたい状況があります。実は平成24年の4月だったと思うんですが、京都の亀岡で、子どもたちが通学している列に一晩中運転していた若者の車が突っ込んで10人が死傷する事故があったんですけれども、松山市はそういう事故がないようにしてくださいということで、夏休みに通学路の緊急合同点検をしてもらいました。さっき言ったように国道もあり、県道もあり、市道もありますから、国に出てきてください、県にも出てきてください、市ももちろん行きますよ、警察も出てきてください、地元のPTAの方も暑いですが出てきてくださいと緊急点検をさせていただきました。こういう危険な状況がありました、こういう新しい歩道を設置しましたとか、押ボタン式の信号機を設置しましたという緊急点検を、全部の小学校でさせていただきました。全部の小学校をホームページで公開していますので、見ていただいたらと思うんですが、これで対策が完了したわけではないので、もちろん危険なところがあったら、今日、終わった後に聞いて帰りますけれども、遠慮なく言ってほしいです。ちょっと、こういう経緯がありますというのをお伝えしておきます。松山市内各所で水路がありますね。水路にふたをしてくれたら道が広がるし、子どもらがもっと安心になって高齢の人らも安心して歩けるという話をいただくんですけれども、水路を使われているのは、農業関係の方が使われているケースが多いです。水路を使っている方からすると、ふたをしてしまうと、物が詰まったときに掃除がしにくいという声があるんです。確かにそうだと思います。そこをふさぐことによって水があふれたりしたらいけないので、農業用水を使っている方からす

ると、なかなかふたはしにくいところがあります。また、水路にふたをすることによって、道幅が広くなって、抜け道になって、逆に交通量が多くなって、危なくなるところもあります。ガードレールをつけてもらうといんじゃないかというところがあるんですが、ガードレールをつけると、沿道にお住まいの方の車の出入りが難しくなる例もあります。ですので、地元の方々とお話をして、どこまで協力してもらえるかにかかってくるんですけれども、松山市としてはできるだけ、お子さんや高齢者の方、市民の方が事故にあうケースはできるだけ少なくしていきたいので、色んなお話をしているところなんですけれども、そういう地元の協力をいただきながらという状況があります。

【女性】 こんにちは。交通のことですけど、農協から出るところが危なくて、ミラーもあるんですけど、右を見て左を見ていたらもうこっちから来ていたりして、本当に危ない思っているんです。交通安全協会に何回も言うんですけど、何も一向に発展しないので、どうか年寄りのためにも、あそこを減速するとか、点滅とか、徐行してもらったらと。本村から出てくる人はみんな危ないとみんなが言うんです。それをしてもらいたいのと、もう1つは野焼きですけど、草とか、木とか、剪定したくずを焼いたら苦情が出るんです。昔の考えでは煙が出たら虫がいなくなる。この前に草を刈ったら、くずができてトンボがいっぱい寄ってくるんです。私は、煙を出すのはいいんじゃないかと思うんですが、松山市の回覧板に1千万の罰金とか書いてあったんです。そんなことしていただけないと思うんです。虫ばっかりになると思うんです。そういうことを考えてほしいんですけど、よろしくお願いします。

【都市政策課長】 都市政策課でございます。ご意見ありがとうございます。まず、交通のことについてですけども、この後に詳しいお話を聞かせていただいて、どのような対応ができるかご相談をさせていただいたらいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

【環境部長】 環境部長の大野と申します。ご質問ありがとうございます。野焼きの件につきましては、プラスチックなどを一緒に燃やすとダイオキシンが発生するというので、野焼きが禁止になったところがあるのですが、農地の枯れ草みたいなものを燃やすことについては、その状況を見まして、こちらで判断をさせていただきたいと思っておりますので、場所を教えてくださいたいと思っております。ダイオキシンの発生が1番大きな問題になりました。ベトナムの枯葉材にも入ってしまっていて、奇形が発生するところが問題となって野焼きが禁止になっておりますので、その辺はご理解いただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

【市長】 野焼きの煙が、洗濯物や布団を干していて臭いがついてしまうみたいなどころがあるんですけど、野焼きすると、虫がいなくなる。

【女性】 昔の人がしていたでしょ。虫がいなくなるんです。私は、おもちをつくるときには、くどをつくってするんですが、煙が出たら近所の人が怒り出すんです。そういうことするのが有名だったのに、それもできない。冬も寒いのに、木を燃やして仕事する前にあたるのもいかん。何にもすることができなくなった。私、皮膚が弱いのかも知れないけど、負けるんです。

【市長】 焼くと虫がいなくなるのは案外知らなかったですね。例えば事前に「焼かせてもらおうと思うから、ちょっと洗濯物ごめんね」という話ができ、お互い理解ができるといい方向に進むのかなと思います。今日はたくさんのご意見をいただきましてありがとうございます。真摯に受け止めさせていただいて、できることからできるだけ早くさせていただいたと思います。8月20日だったと思いますが、広島市で大雨の災害が起こりまして、伊台地区でも心配をされている方が多いと思いますが、翌日に松山市も早速担当部署を呼んで、より一層の対策を指示いたしまして、新たな対策を考えているところです。日本防災協会から求められて東京で防災の取り組みを発表してきたのですが、松山市の防災は消防庁長官賞をいただくぐらい、かなり優れた防災のまちづくりができています。防災士という自主防災組織の核になる人がいるのですが、日本で1番多いんです。2千人を超えています。2番の名古屋市とか3番の大分市は1,500人ぐらいですから、名古屋225万人のまちよりも松山が多いというのは、どれだけ多いかわかっていただけるかと思いますが、この地区にも防災士の方がいらっしゃるんですが、防災士の方は土砂崩れなどの知識も勉強しています。私も去年に防災士の資格を取らせていただいたのですが、皆さんの家にもある防災マップの例えば22ページを開いていただいたら、土石流のサインとかがけ崩れのサインとか地滑りのサインとか出ているんです。もちろん行政としてもしっかりとやっていきますけれども、皆さんがこういうときは危ないんだぞという知識を持っていただくと、これは大きいです。この防災マップは皆さんの家に全戸配布しています。新しいものは今年度中に配付をしますけれども、3年前のものだから全く約に立たないということではございません。愛媛県に防災研究センターがあるのですが、そことも相談をしながら、例えば沿岸部には色をつけているところがあるのですが、この色も昔はもっと派手かましい色をつけていたんです。でも、目の不自由な方からすると派手かましい色は逆に見にくいと教えていただいて、愛媛大学とも相談しながらつくっているかなり色んなことに

配慮した防災マップになっています。皆さんぜひとも見ていただいたらと思います。土石流対策もできる情報がたくさん載っていますので対処していただいたらと思います。1ページにはアンケートが載ってまして、何らかの災害に遭遇すると思っている人は松山市民の8割いるんです。でも地震に備えて家具の固定をしている人は何割いますかといったら、わずか20パーセントしかいないんです。8割の人は何らかの災害に遭遇すると思っているけれども、家具の固定をしている人はわずか2割しかいないんです。家具固定の道具はホームセンターなどで売っていますけれども、家具のたんすにはものすごく重いものが入っていますよね。皆さん、たんすを自分で持ち上げることができますかといったら持ち上げられないですよ。震度7の揺れがあったらたんすは飛んできます。それが直接当たったら命にかかります。倒れたら逃げ道がなくなります。8割の人は何らかの災害に遭遇すると思っているけれども、この時点では対処はわずか2割しかいなんです。防災に関する知識はこの中にたくさん載っていますので、皆さんが日ごろから備えていただくことが非常に大事でありますので、防災の日も近づいておりますので対処をよろしく願いいたします。今日は長時間にわたりましたがけれども、いろいろとご意見をいただきましてありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

— 了 —